BLUE
WIND
FANBOOK Vol.2

アルクェイド
もう
こんなに
してるんだ
志貴が
志貴が
私をこんなに
したんだからね

DUST TO DUST
ALPINE

くす
くす
えへへー
志貴のおちんちんだってこんなだよー♥
うっ

いっぱい
したげるね♥
あっ
アルーク
ぬるるる〜
ちゅ
それっ
キノ

えへへー
あむー…っ
こっちもしちゃおかな－！♥
あぅそこ…
そっそんなとこまで
くね
あ・っく
う・んっ
んっ♥

んんっ
それ 強っ くて
出っ…っ
えへー 今日は まだまだ これから だからね♥

せ…先輩 あうちゃくだよ…
ん…あ
自分で 入れるなんて 恥ずかしいよ…
あぁぁ

あーっ♥
あまぁ
し…主義の
いっ・ぱいい
あ♥
いっぱい
だよお……
ぬぬかぷ
ジュプ
あっ
しきっ
主義い
すごっ
あっ♥
あーっ♥

アルクェイト入ってるところよく見せてよ
こ―
―こうっ
そ♥
え
ここを?
もっと
あん
指でヒラビラをつまんで
じ…じゃあ
こう?
うん
ピンクの粘膜が俺のをひくひくって締め付けてるよ
志貴…
こ…これ奥まで見えちゃ
あ…やだぁ
そのままクリトリスをいじって
う～
クパ

やっ
これ…
強…いっ
ほら
アルクェイド
いじるの
やめちゃ
だめだって♥
あ…
う…ん
でも…
あっ♥
あひっ♥
うあぁっ
あっ
いい～
気持ちいい
のぉ～♥
あそっ
あそ…こ
志貴に
見られて
感じちゃう
～♥

おっ
おい
アルクェ
もっと
して
ほしいな♥
志貴
志貴っ
もっともっと
いっぱい
感じたいよ
好きぃ♥

あっ
おねが〜っ
いじってっ いじってぇ
ね…胸も いっしょにぃ
ジュプッ
ああんっ
ビクビクッ
くにくにっ
いいよぉ♥ 乳首感じるぅっ
ガクガク
いっちゃう
いっちゃうよぉ〜……

あ
うわぁ～
ピュー
たっぷり出てるね～
ビュク
ビュクッ
へへ～ごちそうさまでした♥
おかえし♥
わわっ
こらっバカっ
あぁあっ
ふぁぁぁ
ビクッ
ビクッ

兄さん！

あ 秋葉
こここれは たまたま こーなったんで あって
あわ あわ あわ あわ
こいつは その…
くすくす
へ
くす
おはよう ございます
あ おはよう
はい
志貴さんたら さっきの 全然気づかなくて おかしかったです
琥珀さん 相変わらずだな－
でも 翡翠は？
あ
翡翠ちゃんは ですね～
琥珀さん!?
当分は ボイコット らしいです
は－
ま まさか 嫌われちゃったり とかは…
フフフ どうでしょう
それより

ささ
早くお出かけください
なんで？
まもなく満月がやってきます
秋葉様も血が昂ってまいりますから
今お二人とお会いするのは得策ではないかと…
うーん 確かに妹にちょっかい出されると
色々と面倒よねー
むーん

うっ うわわっ
うるさい志貴 ちょっと おとなしく してなさい！
ちょっ ちょっと何を
琥珀 あんたも 手伝って
はいはい♥
ア
むふ～♥
アルクェイド～
こんな みっともない 事によさ～
うわぁぁあぁぁあぁぁあ
あぁあぁ～

ダダン
ダダンッ
ダダンッ
ダダンッ
ダダンッ
お前
電車初めてじゃ
ないよな？
じゃあ
いつもそんな
調子な訳？
うん！
うぅん
今日は特別
ほんとか？
うん♡
ダダン
ダダンッ
だって
初めて志貴と
一緒に
乗ったんだもん♥
そ、そうスか
それ程ど〜も…
ダダン

お昼のニュースです
8万キロリットルもの流出に達し過去最悪の事故になる模様で
周辺環境への影響が懸念されています
タタンッ
アルクェイド？
ールト海のタンカー座礁は
続きまして
一方 干拓事務所長変死に関する続報です
タタン
今回の事件は
所長の強引な干拓工事に反対する勢力とのトラブルが原因かとも言われておりますがー
タタン
死因が死因だけに
過去に起きた一連の吸血鬼騒動との関連も警察ではー
タタン
タタンッ
アルクェイドー

アルクェイド…
あ
うん…
タタンッ
ごめんね
なんでもないよ
タタンッ
タタンッ
テッテッテッ
アルクェイド〜
ちょっと
落ち付けってば
ザッ
ザッ
だぁめ!
えへへ〜
くるっ
だって
海だよ海!
私
ずっと見て
みたかったんだ〜
♥

ててて
はっ
はぁ

どした
ボケーっとして
ははは
びっくりして
声もなしって
奴ー
ーカ
な

なんだ
これ……

なあアルクエイド
んっ
その…なんつ～か…
え…
ううんいいよ…
わりぃ
じゃあ罰ゲームはクイズね
えらい唐突だな
で何よ？
うん
あのね…
志貴はさ…
私たちが何のために生まれてきたと思う？

はいはい
降参ね
私たちはね
自浄作用
なんだよ…
免疫機能とでも
いうべき存在——…
特異な役割を
与えられて
来たんだけど
でもね
やっぱり
本能というか
衝動が
抑えられなく
なるの…

天敵としての役目を果たせってね
ザワッ…
アル…
だいじょうぶ
強制力が働くほど意志は結びついていないから
血と同じで自制はできるの
ただ

そういったものを
目の当たりにしたら
わたし…
ビュウウウウ…
志貴?
あれ
志貴
いない

しき～
し～き～
志貴～
どこにいっちゃったの～
あ
アルクェイド～

こっちこっち～
志貴!?
志貴ひどいっ!!
わたしだけ置いてきぼりにして遊んでるなんて～っ－
ズカ
ズカ
で
何してるの?
ああ
これか?
いや～お前に言われた訳じゃないけど
…志貴…
やっぱり見て見ぬフリはできないしな～
わたしもやる－
えっ…
いっしょにやろ－

がんばるぞ~!
おー!
おーっ
早く
戻して
きなさい!

ありがと〜っ
がんばるよ〜!
こっちに来て
手つないで
ほしいな♥
てくて
志貴

あのね
志賀…
以前の私にはね
空き部屋があったの…
ぽっかりとただそこにあって

アルクェイド…
それでも…

やっぱり志貴のことが一番知りたい!
志貴の事をもっと知りたい
志貴にもっと愛してほしい—

志貴は？
私の事どう思ってるのかな～って…
あれ？
あ～っ！なんで逃げるのよ～っ！
スタスタ
し～ぎ～
くえっ
志貴ったら
ちゃんと答えてな～いっ！
あっこらっ
そんなとこに乗るんじゃない！
ず～る～い～～
ぶ～ぶ～
や～め～ろ～
スリスリ～
ゴロロ
ギュッ

ああもう！そんなに知りたかったらな～
かあ
今からいやって程教えてやるから覚悟しろ！
ふえっ
ドキ
ドキ
し…志貴…
ドキ
ドキ
ズカズカ
ぼらっ
とっとと来ないとおいてくぞ！
くる
このばかおんな！
わわっ

—— TO BE CONTINUE?

INTERMISSION

アル・・
アルクェイド・・
・・・・
こんな所に大きなストローが
は？
!!!
フェラチオ中に吸血衝動にかられたアルクェイド！
今遠野志貴に『人間』というよりむしろ『男』としての終わりが近づいていた！
終

阿羅本 景

〈後書き〉

どうも、月姫SSサイト『観月舎　Mooneater』のしがないSS書き　阿羅本と申します　初めての方も多いかと存じますので　今後お見知り置きをおねがいします

このような傑作の月姫SSですが　お愉しみ頂けましたでしょうか――アルクェイトを可愛らしく、を目指してみたのですが　蓋を開くとシエル先輩をシメている　妹秋葉を倒れ臥いと　ずいぶんとまとまりがないモノですいません。

ALPINEさんの栄えある同人誌の一席に駄文を言って寄稿させていただきましたが　このような作品でお目汚しにかもしれませんが　面白い　ともし感想を抱かれましたらこの阿羅本としても嬉しく思います

こう　本当は最前ネタで静かに観知さんが美味しい羽を濃しているのはご愛敬、と言いますか笑。

それではどうか　よろしくお願いいたします。

二〇〇一／十一／十一　阿羅本　敬

AFTERWORDS